

日本骨格筋電気刺激研究会 設立趣意書

(Belt electrode－ Skeletal muscle Electrical Stimulation : B-SES ビーセス)

【趣旨】

超高齢社会の深化に伴い、加齢あるいは廃用に伴う筋骨格系の機能低下に起因する歩行移動能力障害を有する者の増加が懸念されています。対策として、従来から主に医療施設における運動療法が行われていますが、対象者全員が運動を継続出来ている訳ではないのが現状です。運動療法につきものの疲労感は容易に継続意欲を萎えさせ、悪天候などの環境因子は運動実施の妨げとなり、さらには身体の疼痛などにより運動そのものが困難な場合もあります。

電気刺激により骨格筋が収縮する現象は古くから知られており、廃用などに伴う筋萎縮に対する治療法として用いられてきています。しかし、これまで骨格筋電気刺激に関しては効果検証が不十分であったため、筋萎縮に対する治療法あるいは予防法として評価されてこなかったのが現状です。

ベルト電極式骨格筋電気刺激法（B-SES：京都大森谷）は、従来の電気刺激法と比べ収縮に参加する筋量のはるかに多く、糖代謝に与える影響および膝ACL術後の四頭筋萎縮予防効果が一部明らかにされている新しい骨格筋刺激法です。B-SESが生体に与える影響を研究しその成果を共有していくことは、効率の良い治療法としての評価を確立するのみでなく、メタボリックシンドロームおよびロコモティブシンドローム両者への有力な対策を提案できる可能性も期待できます。

下記のような研究会設立を提案いたしますので、ご賛同頂ける方におかれましては、何とぞご参加の程、お願い申し上げます

記

【会の名称】

日本骨格筋電気刺激研究会

【目的】

ベルト電極式骨格筋電気刺激法（Belt electrode Skeletal muscle Electrical Stimulation : B-SES ビーセス）が生体に及ぼす影響を明らかにすること

【実施事業】

- ① 臨床研究 : 自由な各施設個別の研究
- ② 多施設研究 : 多くの施設で行う同一の研究
- ③ 研究会開催 : 研究成果の発表

【事務局】

株式会社ホームーイオン研究所

住所 : 〒150-0045 東京都渋谷区神泉町 17-2

e-mail : kenkyu@b-ses.info TEL : 03-3464-8388

以上「日本骨格筋電気刺激研究会」設立の趣旨にご賛同いただき、ご参加の程、
お願い申し上げます。

平成 25 年 9 月吉日

「日本骨格筋電気刺激研究会」設立発起人

代表世話人	織田 弘美	埼玉医科大学 整形外科 教授
世話人	緒方 徹	国立障害者リハビリテーションセンター研究所 運動機能系障害研究部 部長
	関矢 仁	自治医科大学 整形外科 准教授
	田辺 秀樹	田辺整形外科医院 院長
	長谷川 聡	京都大学大学院医学研究科人間健康科学系専攻 リハビリテーション科学研究室 助教
	星野 雄一	とちぎリハビリテーションセンター 所長
	三上 容司	横浜労災病院 副院長

(五十音順)

特別顧問	岩谷 力	国立障害者リハビリテーションセンター 顧問
	林 邦彦	群馬大学医学部保健学科 教授
	森谷 敏夫	京都大学大学院 人間・環境学研究科 応用生理学研究室 教授

(五十音順)